

ご購入者様各位

訂正のお願い

前略 弊社出版物「令和2年版 自動車検査ハンドブック別冊 エンジン最高出力時の回転数データブック 国産乗用車・平成10年～30年収録版」におきまして、誤りがございました。お詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正をお願い申し上げます。

記

P.24

誤	<p>★参考：プリウスZVW30の例（編集部） 最高出力時の回転数が5200min^{-1}であるプリウスZVW30型の近接排気騒音を測定する場合、$5200 \times 75\% = 3900\text{min}^{-1}$程度に数秒間保持する必要がある。また、排出ガスの測定時には整備モードで行うことと指定されている。しかし、整備モード時には過回転防止装置が2500min^{-1}で働くため、2375min^{-1}に数秒間保持した後、近接排気騒音の最大値を測定することになる。</p>
正	<p>★参考：プリウスZVW30の例（編集部） 整備モード時に、$2,500\text{min}^{-1}$で過回転防止装置が働くプリウスZVW30型の近接排気騒音を測定する場合、その数値の$+0$、-50min^{-1} (rpm) を使用することとなる。つまり、$2,450 \sim 2,500\text{min}^{-1}$ (rpm) における、近接排気騒音の最大値を測定することになる。</p>